

ここが聞きたい!

# 一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。今定例会では27人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)



宮崎 朋子(創風)

「コロナ禍でどうなる？」  
「上越市の雇用」



問／雇用状況と経営者への雇用支援は。

答／直近7月の求人人は1・16倍まで回復しているが、パートは低下している。国の雇用調整助成金等の申請数は9月の上越管内では増えている。国と連携し、市民の雇用維持を図っていく。

「コロナ禍だからこそ、もっと強化を！」

問／市内企業雇用促進事業及び若手社員定着支援事業の取組と今後について聞きたい。

答／高校生向けに企業見学ツアーの実施のほか、大学の就職支援担当者とは市内企業との情報交換会を実施している。今後は高校の進路指導担当者や保護者に市内企業を知ってもらう機会を設けていく。若手社員定着支援では、新入社員向けセミナーなどで、今後も職場の定着に取り組む。

「今だからこそ重要！この3点！」

問／1点目、起業家支援が必要ではないか。

答／当市の新設法人数は伸びている。「上越市創業支援ネットワーク」など、連携し、取り組む。

問／2点目、UIJターン事業の市民の協力は。  
答／小さな成功例の積み重ねが重要であり、商工団体や企業、市民、市を含めた総合力で取り組んでいく。

問／3点目、企業への新しい働き方導入支援は。  
答／支援策なども含め、是非相談してほしい。



小山 ようこ(創風)

発達障害児への  
早期支援は



問／通級指導教室及び特別支援学級がある学校数と利用している児童生徒数について聞きたい。

答／令和2年5月1日現在、県の承認で設置している通級指導教室は、小学校10校20学級で528人、中学校2校2学級で58人、市独自で設置するLD通級教室は、小学校4校4学級で38人、中学校4校4学級で21人である。特別支援学級は、全て県の承認で設置しており、小学校48校108学級で379人、中学校18校41学級で144人である。

問／発達障害やその可能性のある子どもへの就学前の支援、取組について聞きたい。

答／こども発達支援センターの専門職員が市内全ての幼稚園・保育園で巡回相談を行っている。就学後もサポートが必要な場合、心理検査の内容や園生活の様子、保護者面談の結果を基に就学先を決めている。学校でも発達状況に合わせた学習環境を整備している。

「コミュニティ・スクールの取組は」

問／コミュニティ・スクールの取組状況は。

答／平成24年度に市内全小中学校・市立幼稚園がコミュニティ・スクールとなり8年目となる。教育活動の充実に効果を発揮している一方、学校によって取組の温度差がある。保護者や地域へ、制度への理解と参加意識の高揚に努める。

